Ⅰ,工事概要

1. 工事名称　石動東部保育所耐震診断工事その2　工事
2. 工事場所　富山県　小矢部 ㊫・郡　町・村　番地
3. 建築概要

構　造	階　数	延　面　積（㎡）	消防令別表	備　考
RC 造	2F	㎡	6　項	
		㎡	項	

4. 工事範囲〔●印をつけたものを適用する。〕

● 電灯設備　● 動力設備　○ 高圧受電設備　● 電話設備　● 放送設備
○ 電気時計設備　● ｲﾝﾀｰﾎﾝ 設備　● ﾃﾚﾋﾞ共聴設備　● 火災報知設備　○ 避雷針設備
○

Ⅱ, 工事仕様

1共通仕様

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通大臣官房官庁営繕部監修の電気設備工事共通仕様書〔平成 13年度版〕、電気設備技術基準,内線規定,建築基準法,消防法,その他の関連各法規,規定による。

2 特記仕様

〔 1 〕章は●印,項目は番号に○印,特記事項は,●印のついたものを適用する。

章	項　目	特　記　事　項
● 一般共通事項	①, 適用基準等	● 設計の優先順序　1. 設計図　2. 特記仕様書　3. 共通仕様書
	②, 機　材	● 材料指定銘柄表によるほか、同等品以上の場合は係員の承諾をうける。
		● 製作図の必要なものは、事前に承諾図を提出し、承諾をうける。
	③, 工事用電力・水	● 本工事に必要な電力. 水などの費用は請負者の負担とする。
	④, 手続関係	● 本工事に伴う官公庁. 署への諸手続等の費用の一切は請負者の負担とする。
	⑤, 施工従業者	● 自家用電気工作物においても、法令で定める電気工事士とする。
	⑥, 現場代理人	● 工事期間中は必ず専門技術者を現場代理人として、工事監督の任に当らせること。
	⑦, 施　工　図	● 着工前に施工図を作成し、係員の承認を受けた後、工事に当らせること。
	8, 残土処理	○ 構内敷きならし　○ 構内指定場所に堆積　○ 構外搬出適切処理
	⑨, 塗装工事	● 露出する管路はすべて指定色ｵｲﾙﾍﾟｲﾝﾄ2回塗りとする。
	⑩, 電線保護材料	○ 薄鋼電線管　● ねじ無し電線管　○ 厚鋼電線管　○ C D 管
		● 耐衝撃性硬質ﾋﾞﾆｰﾙ電線管　○ 可とう電線管　○ 波付硬質ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管
		○ P E ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管　● P F 管
	11, 呼　び　線	○ 長さ1m以上の入線しない管路には1.2mm以上のﾋﾞﾆｰﾙ被覆鉄線を入線のこと。
	12, 接地工事	○ すべて屋外に施工するものとし接地箇所には標示杭.標示板を設置のこと。
	⑬, 用途別表示	● 器具を実装しないﾌﾟﾚｰﾄにはｴｯﾁﾝｸﾞﾌﾟﾚｰﾄ等を用いて用途を明示する。
	⑭, 回路名称	● ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ,端子盤など多数の電線が集合する箇所には回路名札を設けること。
	⑮, ﾌﾗｯｼｭﾌﾟﾚｰﾄ	● 新金属　○ ｽﾃﾝﾚｽ　● 樹脂製（BL）　○ 特殊ﾌﾟﾚｰﾄ（特注）
	16, ﾌﾛｱｰﾌﾟﾚｰﾄ	○ 水平高低調整式（空転防止ﾘﾝｸﾞ付）　○ 水平高低調整式
	⑰, 配線器具	● 全て大角連用型とし、ﾀﾝﾌﾟﾗｽｲｯﾁ,ｺﾝｾﾝﾄはﾈｰﾑ,使用用途表示入り、又換気扇用は、ﾊﾟｲﾛｯﾄｽｲｯﾁとする。
	⑱, 再使用機器	● 取り外し再使用機器は清掃、保管、絶縁測定の上再取付けの事。（照明器具はﾗﾝﾌﾟ取替えの事。）
	⑲, 予　備　品	● ﾗﾝﾌﾟ、ﾋｭｰｽﾞ等（工事取付の 3 %）　○ ﾒｶﾞｰ（500V）
		○ ﾃﾞｼﾞﾀﾙ表示照度計　○ 電気用補修に必要な工具（鉄箱入）
	⑳, 電線本数管路等	配線経路、電線本数及び配管ｻｲｽﾞ等は、設備の機能を優先させ、図面表示と多少相違しても差し支えない。（時計.拡声.表示.インターホン.火報.制御及び操作設備等）
	㉑, コンセント	● 一般コンセント以外の特殊コンセントはプラグ付とする。
	22, 標　示　杭	○ 屋外布設の配管.配線に対し、線路の屈曲箇所,道路横断箇所及び直線部分(30m ごと)に標示杭を設置の事。
	㉓, 工事保証及び経年検査	● 工事完成後、請負業者は契約書に準ずる期間保証の責に任ずる。完成引渡し後 1 年目 — 年目には経年検査を行う、検査の結果、工事不良及び、壊れ等に準ずる理由により生じたと認められる破傷又は、不都合は監督員の指示により速やかに修理の事、これに必要な費用は全て請負者負担とする。
	㉔, そ　の　他	● 不要となった機器、配管配線、及び配線器具等は撤去する。
		● 本工事により既設機器、配管、配線に移設及び配線替え等の変更が必要となった時は本工事で行う
	㉕, 発生材の処理等	● 発生材は構外搬出処分とし、その費用も含め元請業者自らの責任において適 正に処理するものとする。
		● 運搬、処分委託契約書写し及び許可証写しの提出
		● マニフェストの写し提出(A、B2、D、E票)
		● PCBを含む機器類は、PCBが飛散、流出及び地下への浸透等が無いよう適当な容器に納め、適切な場所に保管し、工事完了後、施設担当者に引き渡す。

章	項　目	特　記　事　項
● 電灯設備	①, 電気方式	幹線　● 単相3線式 100V（既設）　○ 直流2線式 100V
		分岐　● 単相2線式 100V（既設）　● 単相2線式 200V（既設）
		○ 直流2線式 100V
	2, ハイテーション	○ 外部固定型　○ 内部固定型　○ 上下移動型　○ OAﾌﾛﾜｰ内ｺﾝｾﾝﾄ
	③, 照明器具	● 蛍光灯ランプ-- ● 白色　● 電球色　● LEDﾗﾝﾌﾟ
		安定器の型式 -- ● 省電力型　○ 一般型
		○ 水銀灯ランプ-- ○ 水銀ランプ　○ 高圧ﾅﾄﾘｳﾑﾗﾝﾌﾟ
		○ メタルハライド　○ ハイカライト
		安定器の型式　○ 普通高力率型　○ 定電力型　○ 低始動電流型
	④, 非常照明器具	● 電池内蔵型(既設)　○ 電源別置型
	⑤, 吊りボルト	FL20W x 2, 40W x 1,以上,電池内蔵 20W x 1 以上,白熱灯 5Kg以上
	6, 予備配管	○ 分電盤より天井ふところ迄 C(31) ____ 本を設ける。
● 動力設備	①, 電気方式	● 幹線, 分岐共　三相3線200V
	②, 機器への接続	● 本工事制御盤より別途電動機への配線は本工事とする。
	③, 電動機の接地	● 単独接地　○ 共通母線式
		○ 金属管接地（ 7.5KWをこえるものは,接地専用線式とする ）
	4, 電　極　棒	○ 本工事　○ 別途工事
○ 高圧受電設備	1, 電気方式	高圧　○ 三相3線6KV （既設ｷｭﾋﾞｸﾙ取替え）
		低圧　○ 三相3線200V　○ 単相3線式 200V/100V
	2, 盤　形　式	○ 閉鎖型　○ 半閉鎖型　○ 開放型　○ 屋内　● 屋外
	3, 主遮断装置	○ C B 型　○ P F - C B 型　○ P F - S 型
		定格遮断電流　○ 8 KA　○ 12.5 KA
	4, 操作方式	○ 手動式　○ 電気式
	5, 盤　基　礎	○ 本工事　○ 別途工事
	6, 配線ﾋﾟｯﾄ及び蓋	○ 本工事　○ 別途工事
● 電話設備	①, ローテーション	○ 一般用 ____ 個　● 内線電話用　7 個
	2, 保安器用接地	本工事に　○ 含む　○ 含まない
	3, 電話機への配線	○ 内線電話1本につきTIVF0.65-2C 2m 2号ﾜｲﾔﾌﾟﾛﾃｸﾀｰ 1.5m見込む。　○ 内線電話1本につきICT0.4-4C 2m 2号ﾜｲﾔﾌﾟﾛﾃｸﾀｰ 1.5m見込む。
	④, 工事範囲	● 配管工事　● 配線工事　○ 接地工事　○ 機器取付調整工事
● 放送設備	①, 増　幅　器	種　類 -- ● 一般型　○ 非常放送用　○ 併用　○ BGM用（別途工事）
		型　式 -- ● 卓上型　○ ｷｬﾋﾞﾈｯﾄﾗｯｸ型　○ ﾃﾞｽｸ型　○ 壁掛型
		出　力 -- ____ W（既設品）
	2, アンテナ	○ 本工事〔○ AMﾎｲｯﾌﾟ　○ FM8素子〕　○ 別途工事
	3, 接　地	○ 本工事　○ 別途工事
○ 電気時計	1, 親　時　計	____ 回線　○ 壁掛型　○ 自立型
	2, 時報子時計	親時計に　○ 内蔵　○ 別置
	3, チャイム	親時計に　○ 内蔵　○ 別置
	4, 停電対策	親時計,子時計共10時間以上駆動とする。
● インターホン	①, 通話方式	● 同時通話式　〔 ● 親子式　○ 相互式　○ 複合式〕　○ 交互通話式
	②, 型　式	親機　○ 卓上型　● 壁掛型（既設品）
		子機　○ 卓上型　● 壁掛型（既設品）
● テレビ共聴設備	①, 配線方式	● 直列ユニット式（既設）　○ 幹線分岐式
	2, アンテナ	○ V H F 12 素子〔BL規格〕　○ U H F 20 素子〔BL規格〕　○ B,S 600φ〔ｵﾌｾｯﾄ型〕
	3, アンテナ支持	○ 壁面支持型　○ 自立型　○ 地上自立型〔鋼管ﾎﾟｰﾙ 7 m〕
	④, 同軸ケーブル	○ 標準ケーブル　● 低損失ケーブル
	5, ビル陰調査	○ 本工事　○ 別途工事
● 火災報知設備	①, 受　信　機	P 型 ____ 級 ____ 回線〔 ● 単独　○ 他と一体 〕（既設品）
	2, 副受信機	____ 回線　○ 複合型〔表示器〕
	③, 総　合　盤	○ 消火栓箱〔別途〕に組込み　○ 専用
	④, 消火栓ﾎﾟﾝﾌﾟ始動	● 発信機と連動（既設）　○ 単独
	5, 連動制御盤〔器〕	____ 回線〔 ○ 単独　○ 他と一体 〕（新設）
	6, 自動閉鎖装置	○ 防火扉用〔 ○ 磁石式　○ ラッチ式 〕〔 ○ 本工事　○ 別途工事 〕
		○ 防火シャッター用は〔 ○ 別途工事　○ 本工事 〕
○ 避雷針設備	1, 導　電　部	○ 突針　○ 棟上導体　○ 金属手摺〔建築工事〕等
	2, 避雷導線	○ 銅より線　○ 建築構造利用
	3, 接　地　極	○ 単独
	4, 接地用端子箱	○ 黄銅製　○ 合成樹脂製　○ 鋼鈑製　○ ｽﾃﾝﾚｽ製
	5, 接地抵抗値	____ Ω以下責任施工とする。

材料指定ﾘｽﾄ

品目	指定メーカー
コンクリート柱	・日本海ｺﾝｸﾘｰﾄ ・日本ｺﾝｸﾘｰﾄ ・セキサン ・
ハンドホール（蓋）	・小林鋳造 ・長谷川鋳工所 ・南濃鋳工所 ・大蔵鋳工所 ・小島製作所
計器類	・（株）東芝 ・三菱電機 ・横河電機 ・立石電機 ・
継電気類	・松下電工 ・立石電機 ・（株）東芝 ・三菱電機 ・
電力用遮断器	・（株）東芝 ・日立製作所 ・三菱電機 ・富士電機 ・
電磁開閉器	・日立製作所 ・（株）東芝 ・三菱電機 ・富士電機 ・松下電工
気中開閉器	・戸上電機 ・富士電機 ・三菱電機 ・
ブレーカー	・三菱電機 ・松下電工 ・富士電機 ・（株）東芝 ・
ｷｭﾋﾞｸﾙ及び受電盤類	・内外電機 ・別川製作所 ・大日製作所 ・川崎電気 ・河村電器
変圧器	・三菱電機 ・日立製作所 ・（株）東芝 ・
進相コンデンサー	・三菱電機 ・日立製作所 ・（株）東芝 ・日本ｺﾝﾃﾞﾝｻｰ ・
避雷器	・三菱電機 ・日立製作所 ・（株）東芝 ・
電線管及び付属品	・松下電工 ・東芝鋼管 ・丸一鋼管 ・日本ﾊﾟｲﾌﾟ製造
硬質ﾋﾞﾆｰﾙ電線管	・積水化学 ・三菱樹脂 ・ｱﾛﾝ化成 ・古河電工 ・
電線類	・古河電工 ・住友電工 ・藤倉電線 ・大日電線 ・矢崎電線
配線器具	・松下電工 ・東芝電材 ・寺田電機 ・神保電器 ・
配分電盤及び端子盤	・内外電機 ・別川製作所 ・大日製作所 ・松下電工 ・河村電器
照明器具	・松下電工 ・東芝ﾗｲﾃｯｸ ・三菱電機 ・
同上（水銀灯）	・松下電工 ・東芝ﾗｲﾃｯｸ ・三菱電機 ・
拡声機器類	・松下通信 ・日本ﾋﾞｸﾀｰ ・T O A ・
電気時計機器	・松下電工 ・セイコー ・TIC ｼﾁｽﾞﾝ ・
ﾃﾚﾋﾞ共聴機器類	・DXアンテナ ・ﾏｽﾌﾟﾛ電工 ・松下電工 ・八木ｱﾝﾃﾅ ・
電話交換機器	・沖電気工業 ・日本電気 ・岩崎通信 ・日立製作所 ・松下電器
ｲﾝﾀｰﾎﾝ，ﾅｽｺｰﾙ類	・松下通信 ・アイホン ・東芝電材 ・
火災報知機器	・ホーチキ ・能美防災 ・松下電工 ・ニッタン ・
防排煙機器類	・ホーチキ ・能美防災 ・松下電工 ・ニッタン ・
避雷針機器類	・大坂避雷針 ・ﾗｲｵﾝ電機 ・日本避雷針 ・
蓄電池.充電器	・日本電池 ・湯浅電池 ・古河電池 ・松下電器 ・
表示器	・松下電工 ・アイホン ・TIC ｼﾁｽﾞﾝ ・
発電機	・三菱電機 ・日立製作所 ・（株）東芝 ・
原動機	・三菱重工 ・新潟鉄工 ・川崎重工 ・
	・久保田鉄工所 ・ﾔﾝﾏｰﾃﾞｨｰｾﾞﾙ ・
中央監視システム	・

※,提出書類

時期	書類
ｲ, 着手時	● 工事費内訳明細書　● 総合工程表　● 工事施工計画書
	● 現場代理人届　● 主任技術者届　● 協力業者採用一覧表
	● 設計図製本（2ﾂ折）〔電気〕 3 部 縮小版 — 部　● 製造業者一覧表
	〔建築,電気,設備共〕 — 部 縮小版 — 部
ﾛ, 工事中	● 各種施工図　● 各種承諾図 3 部　● 各種試験成績報告書
	● 月間工程報告書(工程写真含む)　● 短期工程表
	● 工事日報　● 工事進捗及び出来高報告書
	○ 資材搬入簿　● 各種保健加入控え　● 打合せ記録簿
	○ 工事施工ﾁｪｯｸﾘｽﾄ(壁,ｽﾗﾌﾞ打設前,二重天井内配管時,入線時,機器取付時)　● 立会検査願い　○ 中間出来高検査願い書
ﾊ, 完成時	● 工事写真ｱﾙﾊﾞﾑ(ﾈｶﾞ及びﾍﾞﾀ焼付共) 3 部　● ｶﾗｰｻｰﾋﾞｽ判
	● 竣工図,施工図(原図共2ﾂ折製本金文字入) 3 部
	● 竣工写真ｱﾙﾊﾞﾑ(ﾈｶﾞ及びﾍﾞﾀ焼付共) 3 部　● ｶﾗｰｻｰﾋﾞｽ判
	● 竣工図CADﾃﾞｰﾀｰ、工事・完成写真 3 部　● 電子納品(CD-ROM)
	● 縮小二次原図（ A3版 ） 各 3 部
	● 各種試験成績報告書 3 部
	● 各種保証書及び取扱説明書 3 部
	● 竣工立会検査願い 3 部
	● 予備品及び備品一覧表 3 部
	● 諸官庁手続き書控え 3 部
	● 保守指導案内書 3 部

特記事項

工事名	石動東部保育所耐震診断工事その2	設計	一級建築士 大臣登録 第108041号 可部谷 一成	検図	
図名	電気設備特記仕様書	縮尺	NO SCALE	月日	

可部谷建築事務所
一級建築士事務所富山県知事登録第（7）557号
管理建築士　一級建築士　大臣登録第108041号　可部谷　一成

No.　E－01

特記事項	工事名	石動東部保育所耐震診断工事	設計	一級建築士 大臣登録 第108041号 可部谷 一成	検図	可部谷建築事務所	No.
	図名	配置図・案内図	縮尺	1/200(A2) 1/(200√2)(A3)	月日	一級建築士事務所富山県知事登録第(7)557号 管理建築士 一級建築士 大臣登録第108041号 可部谷 一成	E－02

改修概要及び特記事項
1).動力盤P1-W(屋外型)を新設し、既設動力負荷及び
新設ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝｵｰﾌﾞﾝ配線を接続する。
2).新設動力盤用に引込配線を新設する。
3).既設漏電警報設備用Z.C.Tを新設動力盤内に移設する。
4).同Z.C.Tと既設計器盤内漏電警報ﾘﾚｰを配線接続する。
5).3Φ用WHMは既設計器盤内設置とし、新設動力盤内C.T間を配線接続する。
6).不要となった既設計器盤内開閉器及び配線を撤去する。
7).同撤去ｽﾍﾟｰｽに端子台を設け、新設動力盤と既設負荷配線との接続中継する。
8).不要となった既設計器盤付近のｴｱｺﾝ等の開閉器BOX(WP)
及び配線を撤去する。
9).既設引込金具は取替えとする。(ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ供)
10).分電盤.計器盤は指定色塗装とする。
11).中蓋は脱落防止ビス付とする。
12).分岐開閉器ELB2P50/20ATの動作電流は30mAとする。
13).分電盤への負荷接続は分岐回路の負荷ﾊﾞﾗﾝｽを考慮の上接続する事。
14).LA(1φ3W 100V/200V.3Φ3W200V)
放電耐量(8/20μs 2回)7KA
制限電圧(1500A 8/20μs).対地間.線間 1500V
動作開始電圧.対地間.線間 680V
動力制御盤結線図
盤名 (盤形式) 幹線番号 幹線サイズ
電気方式 主幹 (結線) 合計容量
回路番号 電圧V 分岐 MCCB AF/AT 負荷名称 負荷容量VA 備考
A 220 3P100/75AT (既設動力負荷)
B 3P50/50AT (既設動力負荷)
C 3P50/40AT (既設動力負荷)
D 3P50/30AT (既設動力負荷)
E 3P100/100AT (既設動力負荷)
F 3P100/75AT ｴｱｺﾝ(既設)
G 3P100/75AT ｴｱｺﾝ(既設) 5.76KW
H 3P50/50AT ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝｵｰﾌﾞﾝ(新設) 10.1KW
3P100AF SPACE
3P50AF SPACE
3φ3W220V CET100□(新設)
C.T SPACE
ELCB3P 225/225AT
ZCT (既設品移設使用)
F LED
3φ3W
MCCB3P 50AF/NT
LA x3
ED
P - 1W(新設)
(屋外露出型)SUS304
(指定色塗装)
既設北陸電力契約 31.0 KW
+ 増設負荷 10.1KW
(新設)
C.T CEES2□-7C HIVE(28)
Z.C.T CEES2□-4C HIVE(22)
名称 既設計器盤改修
ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ型式 W (WP)
(既設配線撤去)
3φ3W
1φ3W
(屋外開閉器BOX) x3面
MCCB3P 100/75AT
MCCB3P 100/75AT
MCCB3P 100/100AT
(既設品撤去) (既設品撤去) (既設品撤去)
(既設動力負荷) (既設動力負荷) (既設動力負荷)
WH (既設品取替え)
ZCT (新設盤P-1W内へ移設)
MCCB3P 225/175AT (既設品撤去)
C.T (既設) WH (既設)
ZCT (既設)
(既設漏電警報ﾘﾚｰに接続)
漏電警報(3Φ)
漏電警報(1Φ)
宿直室へ(既設)
漏電警報ﾘﾚｰ x2 (既設)
※既設受変電設備へ
新設動力盤へ
MCCB3P 50/30AT (既設品撤去)
MCCB3P 50/40AT (既設品撤去)
MCCB3P 50/50AT (既設品撤去)
MCCB3P 100/75AT (既設品撤去)
MCCB3P 100/75AT (既設)
MCCB3P 50/50AT (既設)
MCCB3P 50/30AT (既設)
(新設) (新設) (新設) (新設) (新設)
(既設動力負荷) (既設動力負荷) (既設動力負荷) (既設動力負荷) (既設動力負荷)
乳児室 本館 2F電灯
ｾﾊﾟﾚｰﾀｰ
(新設)
既設動力負荷 CE22□-3C
既設動力負荷 CE14□-3C
既設動力負荷 CE8□-3C x2
既設動力負荷 CE5.5□-3C
HIVE(54) x2
照明器具姿図
A-08 LED11.1W x1 LRS1-800LM 4
A-13 LED16.5W x1 LRS1-1300LM
A-18 LED19.9W x1 LRS1-1800LM 15
B-21 LDL20 ×1 直管形LEDランプ 8
B-22W LDL20 ×2(WP) 直管形LEDランプ 1
B-41 LDL40 ×1 直管形LEDランプ 2
光寿命40000時間 電球色
光寿命40000時間 初期照度補正機能付
パネル：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ(透明つや消し)
反射板：アルミダイカスト(高反射ホワイト仕上)
枠：アルミダイカスト(高反射ホワイト仕上)
反射板：鋼板(高反射白色粉体塗装)
C-21 FL20W ×1 ミラーライト 1
D-21W FL20W ×1(WP) 2
防湿・防雨型
グローブ：アクリル(乳白・一部透明)
エンドプレート：(オフホワイト)
カバー：クリーンアクリル(乳白)
本体：ステンレス
E-21 FL20W x1 流し元灯 1
ﾌﾟﾗｽﾁｯｸｶﾊﾞｰ(透明)
壁面・棚下取付用
図中型番.寸法は参考とする。
特記事項
工事名 石動東部保育所耐震診断工事その2
図名 照明器具姿図.分電盤結線図
設計 一級建築士 大臣登録 第108041号 可部谷 一成
縮尺 1/100(A2) 1/(100√2)(A3)
検図
月日
可部谷建築事務所
一級建築士事務所富山県知事登録第(7)557号
管理建築士 一級建築士 大臣登録第108041号 可部谷 一成
No. E-03

ポンプ室	
B-22W	x1

廊下	
B-21	x1

教材室	
B-21	x1

WC1	
A-18	x3
D-21W	x1

教材室	
B-21	x1

WC2	
A-18	x3
D-21W	x1

職員便所	
A-08	x4
C-21	x1

廊下	
B-21	x1

ロッカールーム	
B-41	x2

流し元灯	
E-21	x1

記入なき配線は下記とする。

電灯設備		EM-EEF1.6 - 2C	(ころがし)
		1.6 - 3C	(ころがし)
		1.6 - 2C X2	(ころがし)
		1.6 - 2C +3C	(ころがし)
	2.0	2.0 - 3C	(ころがし)
コンセント設備		EM-EEF2.0 - 2C	(ころがし)
		2.0 - 3C	(ころがし)
各設備共通		既設配管,配線	
	X X X X	既設配管,配線撤去	

配線の立上げ,立下げ及びコンクリート内は電線管にて保護のこと。
露出部分(屋内) メタルモールジング(A型),(B型)
露出部分(屋外) HIVE(16),(22)
いんぺい部分 PF(16),(22),(28)
配線,配管の防火区画貫通は金属配管を使用し、防火区画貫通処理を行うものとする。

使用する配線器具(タンブラスイッチ,コンセント類)には使用用途名を記入すること。
図中アース付きコンセント(100V用)は全て,アースターミナル付き接地コンセント(EET,2EET)を使用すること。
図中破線 シンボルは既設品又は(別途工事)を示す。
工事範囲に係る既設配線器具については、図示なくとも、すべて取替えとする。
工事範囲に係る既設電気設備(配線及び配線器具)について十分調査を行い
絶縁測定により不良が発見された時は、交換すること。
その他、不要となった照明器具及び配線,配管,機器類は撤去とすること。

図中 ●PL シンボルはFAN用スイッチ(ON 表示付)を示す。(その他スイッチはホタルスイッチとする)
図中 C シンボルは、サイクルファンコントロールスイッチ(既設品再取付)を示す。
図中 FC シンボルは、FCコントロールスイッチ(既設品再取付)を示す。
図中 ////// シンボルは、既設コンクリート壁はつり,補修を示す。

特記事項	工事名	石動東部保育所耐震診断工事その2	設計	一級建築士 大臣登録 第108041号 可部谷 一成	検図	可部谷建築事務所	No.
	図名	動力,電灯,コンセント設備配線図 1階	縮尺	1/100(A2) 1/(100√2)(A3)	月日	一級建築士事務所富山県知事登録第(7)557号 管理建築士 一級建築士 大臣登録第108041号 可部谷 一成	E-04

1
2
3
4
5
6
38,000
7,600
7,600
7,600
7,600
7,600
G
F
E
D
C
B
A
1,700
3,550
2,000
4,200
2,000
3,600
7,200
22,550
プロパン室
食品庫
配膳室
雑庫
スロープ
ポンプ室
UP
UP
EXP.J
WC
配膳台
廊　下
休憩室
教材室
TEL
教材室内取付
D2
TEL
教材室
TEL
保育室
耐震壁
保育室
保育室
玄　関
ホール
WC1
WC2
TV
TV
TV
ロッカールーム
下足室
テラス
足洗場
UP
職員便所
押入
事務室
宿直室
既設火報受信機
既設端子盤
EXP.J1
2階平面図　1/100
記入なき配線は下記とする。
放送設備　EM-AE1.2 - 3C　(ころがし)
各設備共通　既設配管,配線
既設配線--新設配管に入線
既設配管,配線撤去
配線の立上げ,立下げ及びｺﾝｸﾘｰﾄ内は電線管にて保護のこと。
露出部分(屋内)　ﾒﾀﾙﾓｰﾙｼﾞﾝｸﾞ(A型),(B型)
露出部分(屋外)　HIVE(16),(22)
いんぺい部分　PF(16),(22),(28)
配線,配管の防火区画貫通は金属配管を使用し、防火区画貫通処理を行うものとする。
使用する配線器具(ﾀﾝﾌﾞﾗｽｲｯﾁ,ｺﾝｾﾝﾄ類)には使用用途名を記入すること。
図中破線 ｼﾝﾎﾞﾙは既設品又は(別途工事)を示す。
工事範囲に係る既設配線器具については、図示なくとも、すべて取替えとする。
工事範囲に係る既設電気設備(配線及び配線器具)について十分調査を行い
絶縁測定により不良が発見された時は、交換すること。
その他、不要となった照明器具及び配線,配管,機器類は撤去とすること。
図中 ｼﾝﾎﾞﾙは、既設ｺﾝｸﾘｰﾄ壁はつり、補修を示す。
特記事項
工事名　石動東部保育所耐震診断工事その2
図　名　弱電,火災報知設備配線図 1階
設計　一級建築士　大臣登録　第108041号　可部谷　一成
縮尺　1/100(A2)　1/(100√2)(A3)
検図
月日
可部谷建築事務所
一級建築士事務所富山県知事登録第（7）557号
管理建築士　一級建築士　大臣登録第108041号　可部谷　一成
No.
E－06

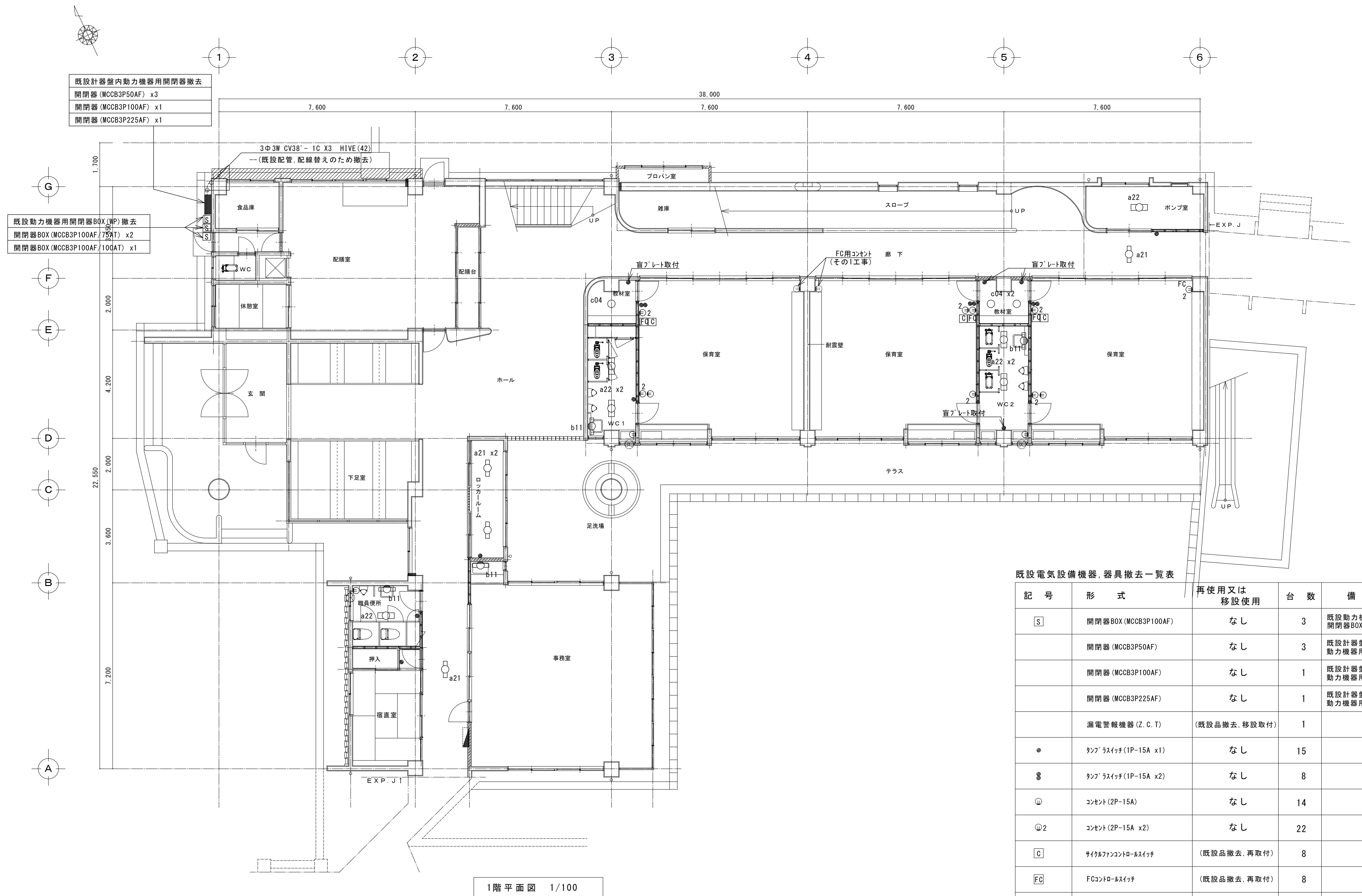
既設電気設備機器,器具撤去一覧表

記 号	形 式	再使用又は 移設使用	台 数	備 考
	ｽﾋﾟｰｶｰ(壁掛型)	撤去,再取付	8	既設配線に接続
	ｽﾋﾟｰｶｰ(天井直付型)	撤去,再取付	2	既設配線に接続
	ATT(埋込型)	撤去,再取付	8	配線新設
TEL	TELﾌﾟﾚｰﾄ(埋込型) (ﾓｼﾞｭﾗｰｼﾞｬｯｸ付)	既設品取替え	7	既設配線に接続
T	内線電話器(壁掛型)	撤去,再取付	3	既設配線に接続
t	ｲﾝﾀｰﾎﾝ(壁掛型)	撤去,再取付	1	既設配線に接続
TV	T.V整合器(埋込型)	既設品取替え	8	既設配線に接続
D2	2分配器(木板取付)	撤去,移設取付	1	教材室内設置 既設配線に接続
	作動式ｽﾎﾟｯﾄ型感知器 2 種(露出型)	撤去,再取付	9	既設配線に接続
	定温式ｽﾎﾟｯﾄ型感知器 1 種(防水型)	撤去,再取付	1	既設配線に接続

特記事項	工事名	石動東部保育所耐震診断工事その2	設計	一級建築士 大臣登録 第108041号 可部谷 一成	検図	
	図 名	弱電,火災報知設備配線図 2階	縮尺	1/100(A2) 1/(100√2)(A3)	月日	

可部谷建築事務所
一級建築士事務所富山県知事登録第(7)557号
管理建築士 一級建築士 大臣登録第108041号 可部谷 一成

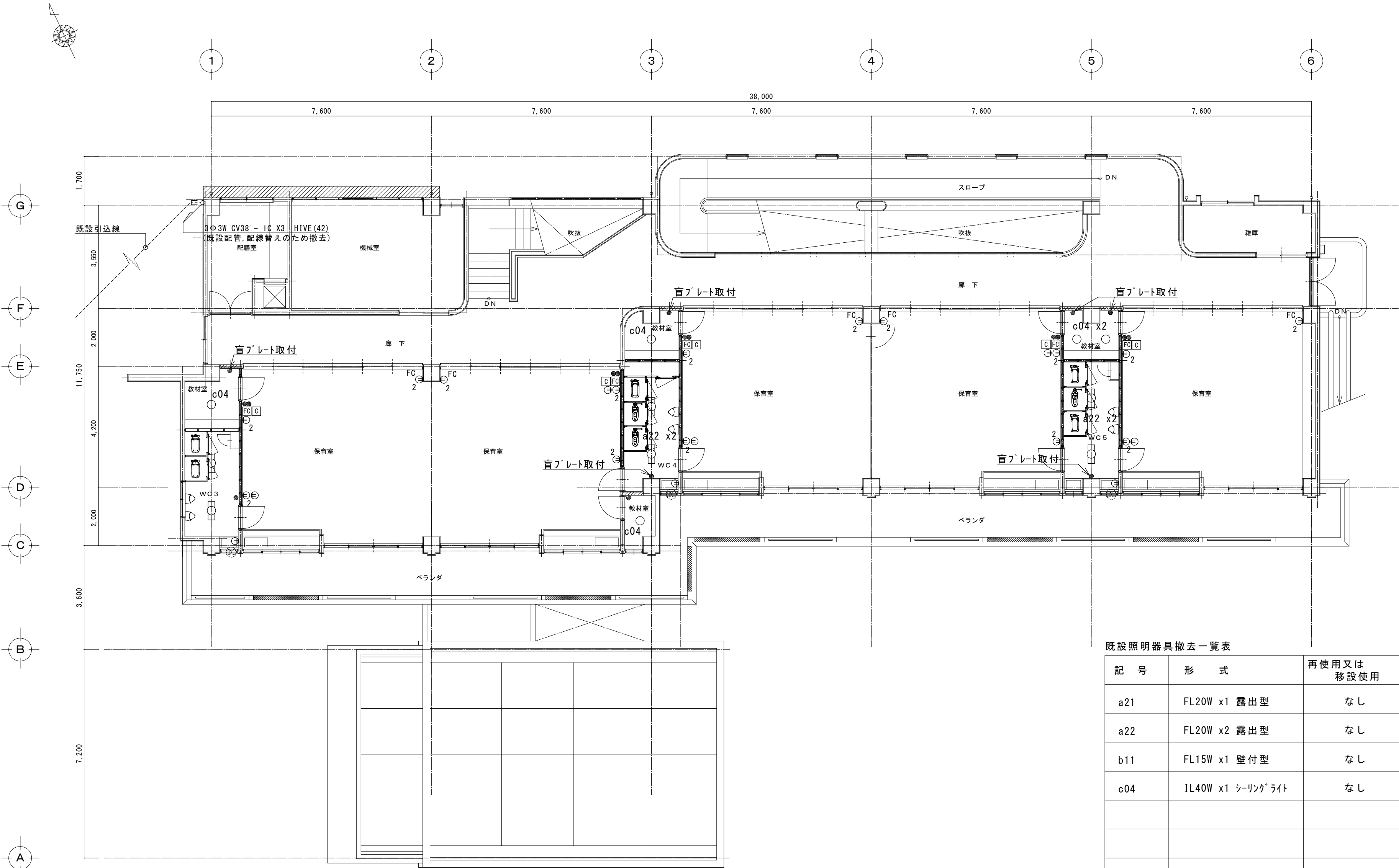
No. E－07

既設電気設備機器,器具撤去一覧表

記号	形式	再使用又は移設使用	台数	備考
S	開閉器BOX(MCCB3P100AF)	なし	3	既設動力機器用開閉器BOX(WP)
	開閉器(MCCB3P50AF)	なし	3	既設計器盤内動力機器用開閉器
	開閉器(MCCB3P100AF)	なし	1	既設計器盤内動力機器用開閉器
	開閉器(MCCB3P225AF)	なし	1	既設計器盤内動力機器用開閉器
	漏電警報機器(Z.C.T)	(既設品撤去,移設取付)	1	
●	ﾀﾝﾌﾞﾗｽｲｯﾁ(1P-15A x1)	なし	15	
●●	ﾀﾝﾌﾞﾗｽｲｯﾁ(1P-15A x2)	なし	8	
⦶	ｺﾝｾﾝﾄ(2P-15A)	なし	14	
⦶2	ｺﾝｾﾝﾄ(2P-15A x2)	なし	22	
C	ｻｲｸﾙﾌｧﾝｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ	(既設品撤去,再取付)	8	
FC	FCｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ	(既設品撤去,再取付)	8	
	引込金具	(既設品撤去,取替え)	1	

特記事項

工事名	石動東部保育所耐震診断工事その2	設計	一級建築士 大臣登録 第108041号 可部谷 一成	検図	
図名	撤去図 1階	縮尺	1/100(A2) 1/(100√2)(A3)	月日	

可部谷建築事務所
一級建築士事務所富山県知事登録第(7)557号
管理建築士 一級建築士 大臣登録第108041号 可部谷 一成

No. E-08

既設照明器具撤去一覧表

記号	形式	再使用又は移設使用	台数	備考
a21	FL20W x1 露出型	なし	4	
a22	FL20W x2 露出型	なし	12	
b11	FL15W x1 壁付型	なし	4	
c04	IL40W x1 シーリングライト	なし	8	

特記事項

工事名	石動東部保育所耐震診断工事その2	設計	一級建築士 大臣登録 第108041号 可部谷 一成	検図
図名	撤去図 2階	縮尺	1/100(A2) 1/(100√2)(A3)	月日

可部谷建築事務所
一級建築士事務所富山県知事登録第(7)557号
管理建築士 一級建築士 大臣登録第108041号 可部谷 一成

No. E−09

特　記　仕　様　書

Ⅰ・ 工事概要

1．工事名称

2．工事場所　小矢部市　畠中　　地内

3．建物概要　（建物名称）

構　造	階　数	延面積ｍ２	消防施工令 別　表	備　考
RC	２階			

4．工事種目　（　○印のあるものを適用する）

（１）　給排水衛生設備工事　　⊙衛生器具設備　⊙給水設備　⊙排水設備　⊙給湯設備
⊙ガス設備　・消火設備　（　　　　　）
・浄化槽設備　（・単独処理槽　・合併処理槽）

（２）　空気調和設備工事　　・主要機器設備　⊙配管設備　・風導設備　・給油設備
・換気設備　（・機器設備　・風導設備）
・自動制御設備　（・機器設備　・電気配管配線設備）
・床暖房設備　　・
・

Ⅱ・ 工事仕様

1．共通仕様

設計図及び，特記仕様に記載されていない事項は，

・国土交通大臣官房官庁営繕部監修［機械設備工事共通仕様書］及び［機械設備工事標準図］による。（平成１６年度版）

・監督員の指示による。

2．特記仕様

章は○印の付いたもの項目は○印の付いたもの，特記事項は○印の付いたもの
また、特記事項覧内の※印項目は全て適用。

Ⅲ．　特記仕様

章	項　目	特　記　事　項
⊙ 一般共通事項	① 適用基準等	設計書の優先順序　1．設計図　2．特記仕様書　3．共通仕様書
	② 官公庁への手続	本工事に必要な工事用電力・水及び諸手続き等の費用一切は，全て請負者の負担とする。
	③ 工事範囲	設計図に記載なくとも構造、機能、美観上、当然必要と認められるものは、請負金額の範囲内で施工のこと。
	④ 施工の立ち会い	共通仕様書及び次に記載されている施工の際は、監督員の立会いを受ける。但し監督員の認める軽微な場合はこの限りではない。 （ａ）主要機器の設置。 （ｂ） サク井の検尺、ケーシング沈設、砂利充填、ポンプ据付等。 （ｃ）設備機器総合試運転。
	⑤ 施工計画	着工に先立ち、施工計画表．実施工程表．機器承諾図．施工図等を提出し、監督員の承諾を得て後施工のこと。
	⑥ 工事提出図書	《提出図書の部数等は、原則として建築図特記仕様書による。》
	(1)工事写真	工事の進捗状況が把握できる設計略図、寸法、日付等、記入した小黒板を置いて撮影のこと。 工事中 → ｶﾗｰｻｰﾋﾞｽ版１部　完成時 → ｶﾗｰｻｰﾋﾞｽ版１部
	(2)設計図	着工時 → 縮小版製本１部（建築図・電気図・設備図合同製本）
	(3)完成図	工事完成後２５日以内に完成図として、黒表紙製本１部（施工図共）
	(4)試験成績表 測定表	（ａ）サ ク 井 ＝ 揚水量・自然水位・運転水位・電気探査値 （ｂ）冷暖房空調 ＝ 風量・風速・温湿度・騒音 （ｃ）換　気 ＝ 風量・風速・温湿度・騒音 （ｄ）排　煙 ＝ 風量・風速 （ｅ）
	(5)保守指導案内書	機器保守に関する指導案内書を提出し、取扱い責任者に対し適切な指導をすること。
	7 発生材の処理	引渡を要するもの。　・ なし　・ あり（　　　　） 引渡を要しないものは、全て構外に搬出自由処分とするも 産業廃棄物の処理に係る法律等　関係法令に従い適切に処理のこと
	8 は つ り	既存のコンクリート床及び、壁の配管．風導貫通部の穴開けはダイヤモンドカッターによるコアー抜きとする。
	⑨ 耐震措置	機器・配管・風導等は耐震を考慮し、堅固に据付け取付け又は支持を行う。
	⑩ その他	残土処分　・ 構内敷ならし　⊙ 構外搬出適切処理 埋戻し土　・ 根伐中の良質土（但し管の周囲は山砂）・ 購入土 耐火構造等の防火区画等を貫通する管は、建築基準法施工令第112条第15項．及び建設省告示第3183号の規定に基ずき、適切に処理の事
・衛生器具設備	1 衛生器具 附属品	ＪＩＳマーク表示品　※ 洗浄弁は節水型とする 大便器には　・ 耐火カバー（ピット内不要）　・ アスファルト被覆 ・ バキュームブレーカー（洗浄弁の場合）　付
	2 洗浄方式	大便器　・ 洗浄弁方式　・ タンク方式（防露型） 小便器　・ 洗浄弁方式　・ タンク方式（防露型） ・ 個別感知フラッシュ弁　（・ 埋込　・ 露出 ） ・ 集合感知ハイタンク弁
	3 小便器洗浄管	・ 露出　・ 埋込　配管　（・ SGP-PD　・ SGP-VB）
	4 その他	水栓こまは原則として、節水コマとする。 寒冷地の場合水抜き栓を使用する。 （水栓は耐寒水栓とし、衛生器具附属のものは固定コマ式）

章	項　目	特　記　事　項
⊙ 給水設備	① 給水方式	・ 水道直圧給水方式・　高置水槽方式・　圧力水槽方式　・ 上水・　井水 ・ 受水槽＋給水ポンプユニット方式（吐出圧一定　台数制御）
	2 上水道引込み	引込み口径 ＝ ２５０ｍｍ 引込納付金　・ 要　（・ 別途　・ 本工事　￥178,500円）　・ 不要
	3 量水器	親メーター（・ 貸与品　・ 本工事）　子メーター（・ 本工事） 隔測式リモートメーター　機器　（・ 本工事　・ 別途工事） 電気配管配線（・ 本工事　・ 別途工事）
	4 弁・量水器桝	・ 建設省標準図　VC　MC型　・ 水道事業者仕様
	⑤ 弁類	水道直結部分　JIS　（・ １０Ｋ　・ 管端防蝕弁） その他の部分　JIS　（・ ５Ｋ　・ １０Ｋ　・ 管端防蝕弁）
	⑥ 配管材料	屋内配管　⊙ ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管（⊙ ﾎﾟﾘ粉体ＳＧＰ－ＰＢ　・ 塩ビHIVP） ・ ステンレス鋼管（SUS304TPD） 地中埋設配管　（建屋土間内） ・ 外面被覆ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管（・ ﾎﾟﾘ粉体ＳＧＰ－ＰＤ　・ 塩ビSGP-VD） ・ 耐衝撃性硬質塩化ビニール管（HIVP） 地中埋設配管　（屋外埋設） ・ 外面被覆ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管（・ ﾎﾟﾘ粉体SGP-PD　・ 塩ビSGP-VD） ・ 耐衝撃性硬質塩化ビニール管（HIVP） 水道引込管　（屋外埋設） ・ 水道局指定管材料 ・ ※ ライニング鋼管のネジ込み継手は、管端ｺｱ-防蝕継手とする。 ※ 給水管の最小口径は、２０ｍｍとする。 ※
	7 管の埋設深度	一般敷地 ＝ ４５０ｍｍ以上　車両通路 ＝ ７５０ｍｍ以上 寒冷地 ＝ 凍結深度以上
	8 可とう継手	・ ベローズ型　（鋼板製水槽廻りに使用） 寸法　２５Ａ以下＝３００Ｌ　５０Ａ以下＝５００Ｌ １５０Ａ以下＝７５０Ｌ ・ 合成ゴム製　（ＦＲＰ製水槽廻りに使用） 寸法　４０Ａ以下＝３００Ｌ　８０Ａ以下＝５００Ｌ １００Ａ以上＝７００Ｌ
	9 防振継手	鋼製フランジ付で補強材挿入した合成ゴム製又は、三山ベローズ型
	10 その他	・ ６５Ａ以上の弁はバタフライ弁（ウォームギァー式）とする ・ 被覆鋼管に取り付ける鋳鋼弁は、ライニング弁とする ・ 水頭圧３０ｍ以上は衝撃式逆止弁とする ・
⊙ 排水設備	1 排水方式 新設公共桝に放流	汚水放流先　（・ 公共下水　・ 単独浄化槽　・ 合併処理浄化槽） 雑排水放流先（・ 公共下水　・ 合併処理槽　・ 排水路　・ 側溝） 雨水放流先　（・ 公共下水　・ 排水路　・ 側溝） 特殊排水　（　　　　） ※ 建物内の汚水・雑排水は原則として、２管分流方式とする
	② 配管材料	汚水　・ ﾒｶﾆｶﾙ型排水鋳鉄管（HASS210）　・ 鉛管（HASS203） （・ ＰＳ天井内　・ 建屋土間内　・ トレンチ内） ・ ﾗｲﾆﾝｸﾞ．ｺｰﾃｨﾝｸﾞ鋼管　（・ WSP042　・ WSP032） （・ ＰＳ天井内　・ 建屋土間内　・ トレンチ内） ⊙ 塩化ビニール管（JIS　K　6741）　ＶＰ一般管 （・ ＰＳ天井内　・ 建屋土間内　・ トレンチ内） ・ 石綿二層管（建設大臣認定品） （・ ＰＳ天井内　・ 建屋土間内　・ トレンチ内） 雑排水　・ 配管用炭素鋼鋼管（JIS　G　3452）　ＳＧＰ－白 通気　（・ ＰＳ天井内　・ 建屋土間内　・ トレンチ内） ・ ﾗｲﾆﾝｸﾞ．ｺｰﾃｨﾝｸﾞ鋼管　（・ WSP042　・ WSP032） （・ ＰＳ天井内　・ 建屋土間内　・ トレンチ内） ・ 塩化ビニール管（JIS　K　6741）　ＶＰ一般管 （・ ＰＳ天井内　・ 建屋土間内　・ トレンチ内） ・ 石綿二層管（建設大臣認定品） （・ ＰＳ天井内　・ 建屋土間内　・ トレンチ内） 屋外排水　・ 塩化ビニール管　（・ ＶＰ管　・ ＶＵ管） ・ 耐衝撃性硬質塩化ビニール管（ＨＩＶＰ） （※ＨＩと図示部分） ・ ヒューム管（JIS　A　5303）外圧管１種のＢ形
	3 洗面器の排水管	・ 洗面器及び手洗器に直結する排水管寸法は、器具トラップより１サイズアップとする。 ・ 既製流し台等の床上露出部の配管は、硬質塩化ビニール管ＶＰでもよい。
	4 桝・マンホール	汚水桝　・ 標準図ＳＣ形　・ ＳＡＳＢ形　・ 塩ビ小口径桝　・ 市販形 排水桝　・ 標準図ＲＣ形　・ ＲＡＲＢ形　・ 塩ビ小口径桝　・ 市販形 雨水桝　・ 標準図ＲＣ形　・ 塩ビ製小口径桝　・ 市販コンクリート形 マンホール、蓋　・ ＭＨＡ　・ ＭＨＢ　・ コンクリート製　・ 塩ビ製 ※ マンホールは、図示にて使用区分する。 ※ マンホールは、コンクリート打込　上縁タイプとする。 ※ 蓋には、『汚水』『雑排水』『雨水』と鋳出す。
	5 保温	排水鋳鉄管の保温は、グラスウール保温帯とする。
	⑥ その他	⊙ グリーストラップ　FRP　250L ・
⊙ 給湯設備	1 配管材料	・ 保温付被覆銅管（硬質Ｍタイプ　発泡断熱材１４ｍｍ以上） ・ 銅管（ＪＩＳ　Ｈ　３３００　硬質Ｍタイプ） ・ ステンレス鋼管（ＪＩＳ　Ｇ　３４４８） ・ 給湯用耐熱性塩ビライニング鋼管（Ｃ－ＶＡ） ・

章	項　目	特　記　事　項
⊙ 給湯設備	2 給湯機器の種類	・ 給湯ボイラー（型式　・ 貯湯式　・ 瞬間式　・ 真空式） （燃料　・ 灯油　・ ＬＰガス・　都市ガス） ⊙ ガス給湯器　（型式 ⊙ 瞬間式　・ 貯湯式　・　　・　） （排気　・ ＦＦ型　・ ＦＥ型　・ バランス型） ・ 電気温水器　・ ヒートポンプ式　エコキュート ・
	3 弁類	※ 給水設備の項にならう。青銅弁の弁棒は耐脱亜鉛材料とする。
	4 その他	・ 図示なくともボイラー・貯湯槽には防蝕用電極装置具備のこと。 ・ 異種金属管接続には、絶縁継手使用のこと。（鋼製ボイラー等） ・ 銅管の支持は、ゴム絶縁支持金具使用のこと。 ・ ステンレス鋼管の接続方法は、呼び径ＳＵ６０以下の場合は、（・ プレス　・ 拡管　・ 溶接　・ その他　　）とする。 ・ 湯沸器の排気筒の隠蔽部分は断熱（ロックウール）のこと。 ・
⊙ ガス設備	1 使用ガスの種類	・ 都市ガス　（発熱量　　Ｋｃａｌ／ｍ３） ・ プロパンガス　（発熱量　１２０００　Ｋｃａｌ／Ｋｇ）
	② 配管材料	⊙ 配管用炭素鋼鋼管（ＪＩＳ　Ｇ　３４５２）　ＳＧＰ－白 ・ ポリエチレン被覆鋼管（ＰＬＰ）　屋内屋外埋設配管用
	3 ガス集合装置	・ 本工事（　Ｋｇ　本立　） ・ 別途工事
	④ 弁・コック・栓	※ガス事業者の規定に合格したもの。又は承認されたもの。
	（１）弁	・ ボール弁　ＪＩＳ１０Ｋ　（都市ガスの一次側） ・ 玉形弁　ＪＩＳ２０Ｋ　（ＬＰガスの一次側） ・ 仕切弁　ＪＩＳ１０Ｋ　（都市ガス・ＬＰガスの二次側）
	（２）コック	・ ヒューズコック（３／８）　・ ネジコック　⊙ 可とう管コック ・ メーターコック　・
	（３）接続具	・ ゴム管　・ 強化ゴム管　・ 金属可とう管　・ 金属管
	5 ガス漏れ警報器	・ 設置する（外部警報端子　・ 有　・ 無）　・ 設置しない
	6 埋設深度	一般敷地 ＝ ４５０ｍｍ以上　車両通路 ＝ ７５０ｍｍ以上
	7 試験	・ 都市ガス　気密保持時間　６０分 ・ ＬＰガス　気密保持時間　２４分 ※ 気密試験結果のチャートグラフ提出のこと。
	8 ＬＰボンベ庫	・ 本工事（・ 鋼板製市販品２０Ｋｇ × ２本入）　・ 別途工事
	9 ＬＰボンベ本体	※ 別途支給品とする。但し基礎及び転倒防止用鎖等は、本工事
	10 ガス計量器	・ 親メーター（・ 貸与品　・　）※メーターコックは本工事 ・ 子メーター（・ 貸与品　・　）※メーターコックは本工事
	11 その他	・
・消火設備	1 消火設備の種類	・ 屋内消火栓設備（・ １号　・ ２号）　・ 屋外消火栓設備 ・ スプリンクラー設備（・ 高感度型　・ 一般型　・　） ・ 特殊消火設備　（・ハロン消火　・ 泡消火　・ 粉末消火　） ・ 補助散水栓設備　・ 連結送水管設備　・
	2 配管材料	・ 配管用炭素鋼鋼管（ＪＩＳ　Ｇ　３４５２）　ＳＧＰ－白 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（ＪＩＳ　Ｇ　３４５４）　ＳＣＨ４０以上 ・ 消火用ポリエチレン外面被覆鋼管（ＳＧＰ－ＰＳ）　地中配管用
	3 屋内消火栓箱	・ ＨＢ－１Ａ　・ ＨＢ－１Ｂ　・ ＨＢ－４Ａ　・ ＨＢ－４Ｂ ・ ＨＢ－２０　・ 総合形　・ 消火器箱併設形
	4 消火栓放水弁	・ 10Kg/cm2　圧力調整弁付（水頭圧３０ｍ以上は衝撃式逆止弁付）
	5 消火器	・ 機械室 ＝ ＡＢＣ１０型　本　・ 本工事　・ 別途工事 ・ 貯油槽用 ＝ ＡＢＣ１０型　本　・ 本工事　・ 別途工事 ・ ＬＰ庫 ＝ ＡＢＣ１０型　本　・ 本工事　・ 別途工事 ・ 電気室 ＝ ＡＢＣ１０型　本　・ 本工事　・ 別途工事 ・ 建物用 ＝ ＡＢＣ　型　本　・ 本工事　・ 別途工事 ・　＝　型　本　・ 本工事　・ 別途工事 ・ 格納箱 ＝ １本入　個　２本入　個　・ ＳＵＳ製　・ 鋼板製
	6 その他	・ 屋内消火栓配管　・ スプリンクラー配管の保温（・ 要　・ 不要） ・ ポンプ室．機械室内露出配管の保温　（・ 要　・ 不要）
・し尿浄化槽設備	1 建築の用途	JIS　A　3302-1988による用途　『　　　』
	2 処理対象人員他	処理対象算定人員 ＝　人　処理水量 ＝　ｍ３／日
	3 放流水質	ＢＯＤ ＝　ｐｐｍ 以下
	4 単独処理槽	図示による　人槽（・ 重耐圧型　・ 一般型）ポンプ槽（・有　・無）
	5 合併処理槽	図示による。
	6 槽材質	※建設大臣型式認定品　・ ＦＲＰ　・ ボックスカルバート　・ ＲＣ
	7 ブロワー	吐出風量 ＝　ﾘｯﾄﾙ／min　入力 ＝　ｗ
	8 マンホール類	ＭＨＡ蓋　（チェッカープレート類は、ロック式とする。）
	9 消毒剤	１か月相当分以上具備のこと。
	10 流入管底	ＧＬ－　ｍｍ
	11 試運転調整	浄化槽使用開始３か月後、１回放流水質の測定結果報告提出のこと。
	12 その他	山止め　・ 要（　　　）　・ 不要 埋戻し土　・ 根伐土の中の良質土（但し槽の周囲は山砂）　・ 山砂
・融雪設備	1 方式	・ 井戸水散水式　・ 無散水式
	2 配管材料	送水管　・ 耐衝撃性硬質塩化ビニール管（ＨＩＶＰ） 散水管　・ 配管用炭素鋼鋼管（ＪＩＳ　Ｇ　３４５２）ＳＧＰ－白
	3 弁類	※ 給水設備の項に準ずる。
	4 融雪ノズル	・ 調圧弁内蔵形頂部ＳＵＳ製　・ 穴明きパイプ ・ オールステンレス製全面散水開閉形　・ 無散水融雪パネル
	5 その他	※ 散水ヘッダーの端部には、排泥弁を取り付けのこと。 ※ ノズルの配置配列は、路面勾配等充分考慮の上決定のこと。
・その他	1 設備内容	
	2 配管材料	・ 配管用炭素鋼鋼管（ＪＩＳ　Ｇ　３４５２）　ＳＧＰ－白 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（ＪＩＳＧ　３４５４）　ＳＣＨ４０以上 ・ 塩化ビニール管（JIS　K　6741）　ＶＰ一般管 ・ ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管　（・ ﾎﾟﾘ粉体SGP-PB　・ 塩ビSGP-VB）

章	項　目	特　記　事　項
⊙ 空気調和設備	① 設備概要	今回工事はブロック壁撤去軽鉄壁に付既設エアコン取り外し取付を行う 従って　冷媒配管は改修としスリムダクトは再使用を基本とする
	2 設計温湿度	（下表）

	外気 温度ＤＢ	外気 湿度ＲＨ	室内 一般系統 温度ＤＢ	室内 一般系統 湿度ＲＨ	室内 系統 温度ＤＢ	室内 系統 湿度ＲＨ
夏　季						
冬　季						

章	項　目	特　記　事　項
	③ 主要機器仕様	・ 製造メーカー標準　・ 建設省仕様　⊙全て既存品再使用とする
	4 機器附属制御盤	・ 故障表示及び表示用無電圧接点、端子を設ける。 ・ インターロック端子付。 ・ 建設省仕様制御盤については、建設省共通仕様書による。
	5 煤煙濃度計	・ 設ける　・ 設けない
	6 煤塵量測定口	・ 設ける（測定口は径８０φとし、煙導の直線部に取付）　設けない
	7 配管材料	・ 空調用給水管 ―― ・ 給水設備の項に準ずる。 ・ 冷温水管 ―― ・ 配管用炭素鋼鋼管（JIS　G　3452）　SGP－白 ・ 冷却水管 ＜ ・ 配管用炭素鋼鋼管（JIS　G　3452）　SGP－白 ・ ライニング鋼管　JWWA　K　116　SGP-VA ・ 機器ドレン管（断熱　要）＜ ・ 配管用炭素鋼鋼管（JIS　G　3452）　SGP－白 ・ 硬質塩化ビニール管（JIS　K　6741）VP一般管 ・ 冷媒管 ―― ・ 冷媒配管用銅管　（製造メーカー標準品） ・ 蒸気管 ＜ ・ 配管用炭素鋼鋼管（JIS　G　3452）　SGP－白 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（JIS　G　3454）STPG３８ ・ 膨張管空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管は配管用炭素鋼鋼管（ＪＩＳＧ３４５２）ＳＧＰ－白とする。
	8 防振継手	・ 給水設備の項に準ずる。
	9 可とう継手	・ 給水設備の項に準ずる。
	10 弁類	・ 給水設備の項に準ずる。 図示によりバタフライ弁を使用するときは、本体鋳鉄製、弁体は耐熱耐磨耗性の完全密閉構造とする。（ｳｫｰﾑｷﾞｬｰ式）
	11 その他	・ ・
・風導設備	1 風　導	低速ダクト　（・ 共板工法　・ アングル工法 ）
	2 チャンバー	・ 打貼りを施すチャンバーの表記寸法は、外寸法を示す。 ・ 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー・ホッパーには排水管（２０Ａ）を取付、屋外又は間接排水口に導く。
	3 ダンパー	・ 風量調節ダンパー　（１．２ｍｍ以上の鋼板製） ・ 防火ダンパー　（１．６ｍｍ以上の鋼板製　防火性能評定品） ・ 防煙ダンパー　復帰方式（・ 遠隔　・　） ・ ピストンダンパー　復帰方式（・ 遠隔　・　）
	4 保　温	・ 還りダクトの保温要（保温厚２５ｍｍ、範囲は図示による） ・ 外気ダクトの保温要（保温厚２５ｍｍ、範囲は図示による） ・ 隠蔽ダクトのフランジ部（補強を含む）は、厚さ２５ｍｍの保温を重ね巻きする。 ※チャンバー及び風導の消音内貼（図示箇所）部分は外部保温不要
	5 制気口	・ １．０ｍｍ以上のアルミニゥム製、指定色メラミン焼付仕上げ
	6 その他	・ 空気調和器に取付るサプライチャンバー、レタンチャンバー及び消音内貼したチャンバーには、点検口を設ける。 （点検口の大きさは、図示による。） ・
・換気設備	1 換気方式	・ 第一種換気　・ 第二種換気　・ 第三種換気
	2 風　導	・ 低速　・ 高速　・ 亜鉛引鉄板　・ 亜鉛引スパイラルﾀﾞｸﾄ
	3 排気フード（厨房天蓋等）	・ ＳＵＳ３０４製　１．０ｍｍ以上　・ 亜鉛引鉄板製１．０ｍｍ
	4 たわみ継手	・ 送風機吸込側に取付る物はピアノ線入り　（風導設備も共通）
	5 その他	・ 厨房系統の排気ダクトは共通仕様書より一番手厚い物を使用。 ・ 排気ダクトのシール（・ 厨房系統　・ 浴室系統　・　） ・ 外気取り入れダクトは断熱のこと。 ・
・給油設備	1 燃料の種類	・ 灯油　・ Ａ重油　・ 特Ａ重油
	2 貯 油 槽	・ 地上型　・ 簡易地下埋設型　・ 地下タンク室築造型
	3 総 容 量	「 190 ﾘｯﾄﾙ」　法定指定数量　・ 超えない　・ 超える
	4 保護被覆材	・ タールエポキシ樹脂仕上げ
	5 配管材料	・ 外面被覆付鋼管（屋外露出部分） ・ 配管用炭素鋼鋼管（ＪＩＳ　Ｇ　３４５２）　ＳＧＰ－黒　地中埋設部は、防水麻布巻き
	6 弁　類	・ ＪＩＳ１０Ｋ　油用鋳鋼弁
	7 可とう継手	・ ベローズ型　２０Ａ　３００Ｌ　２５Ａ～４０Ａ　５００Ｌ　５０Ａ　７００Ｌ
	8 その他	・ 露出配管全て指定色塗装仕上げ
・自動制御	1 制御方式	・ 電気式　・ 空気式　・ 電子式
	2 監視方式	・ 個別式　・ 中央式
	3 二次側電気工事	・ 本工事（電気設備共通仕様書に基ずく）　・ 別途工事
	4 その他	・ ・
・排煙設備	1 風　導	・ 高速　・ 亜鉛引鉄板　・ 普通鋼板（１．６ｍｍ）
	2 排煙口の型式	・ 天井取付　・ スリット型　・ スイング型 ・ 壁面取付　・ スリット型
	3 排煙口開放装置	・ 手動　・ 手動及び、遠隔操作可能な物。
	4 その他	・ ・

被覆塗装仕様

G＝グラスウール　R＝ロックウール
FP＝フォームポリスチレン

	区分	給排水・消火管		給湯・温水管		冷温水管		井水管	蒸気管
配管	屋内　露出（便所）	① G 保温筒 ② 鉄線 ③ 厚紙 ④ 合成樹脂カバー ④ ＳＵＳ鋼板 ０．３ｔ		1．G 保温筒 2．鉄線 3．厚紙 4．ＡＩｶﾞﾗｽｸﾛｽ		1．　保温筒 2．鉄線 3．厚紙 4．綿布 4．ＡＩｶﾞﾗｽｸﾛｽ		冷温水管仕様に準ず	給湯管仕様に準ず
	天井内ＰＳ内 空隔壁内	1．G 保温筒ALK 2．ＡＩ粘着ﾃｰﾌﾟ 3．亀甲金網		1．G 保温筒ALK 2．ＡＩ粘着ﾃｰﾌﾟ 2．鉄線 3．亀甲金網 3．ＡＩｶﾞﾗｽｸﾛｽ		1．　保温筒ALK 2．ＡＩ粘着ﾃｰﾌﾟ 2．鉄線 3．Ｐ－ﾌｲﾙﾑ 4．亀甲金網 4．ＡＩｶﾞﾗｽｸﾛｽ		冷温水管仕様に準ず	給湯管仕様に準ず 但し外装はAIｶﾞﾗｽｸﾛｽ
	床下・暗渠内（ピット内）	1．ＦＰ保温筒 2．鉄線 2．粘着テープ 3．Ｐ－ﾌｲﾙﾑ 4．防水麻布 5．プライマー（２回塗り）		1．G 保温筒 2．鉄線 3．防水麻布 4．鉄線 5．プライマー（２回塗り）		1．　保温筒 2．鉄線 3．Ｐ－ﾌｲﾙﾑ 4．防水麻布 5．鉄線 6．プライマー（２回塗り）		冷温水管仕様に準ず	給湯管仕様に準ず
	屋外　露出 多湿　箇所（浴室厨房）	1．ＦＰ保温筒 2．粘着テープ 3．Ｐ－ﾌｲﾙﾑ 4．ＳＵＳ鋼板 ０．３ｔ		1．G 保温筒 2．鉄線 3．ＳＵＳ鋼板 ０．３ｔ		1．　保温筒 2．鉄線 3．Ｐ－ﾌｲﾙﾑ 4．鉄線 5．ＳＵＳ鋼板 ０．３ｔ		冷温水管仕様に準ず	給湯管仕様に準ず
	保温材厚さ	管径	厚み	管径	厚み	管径	厚み	管径 厚み	管径 厚み
		15A～80A 100～150A Ｆ保温筒 15～150A	20mm 25mm 20mm	15A～80A 100～150A 200A以上	20mm 25mm 40mm	15A～25A 32～200A 250A以上	30mm 40mm 50mm	冷温水管仕様に準ず	

※ 配管防露・保温特記事項

1 排水管の暗渠内及び、屋外露出部は断熱保温不要
2 土中及び、コンクリート内埋設の裸管（鋼管類）は防蝕テープ1/2重ね２回巻き。
3 鋼管類のネジ切り部は、サビ止め塗装のこと
4 暗渠内の裸管（鋼管類）は、コールタール塗り。支持金物は溶融亜鉛ﾒｯｷ製とする
5 冷媒管の保温は機器メーカーの標準仕様とする。
屋外露出部は、化粧カバー仕上げ
6 機器ドレン管の保温は、排水管の項に拠る。
7 保温を施さない屋内屋外露出管は、指定色仕上げとする。
8

	区分	仕様
風導	屋内露出　機械室倉庫	1．鋲　2．ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ化粧保温板（ｸﾞﾗｽｳｰﾙ２号　40K　50mm）　3．ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ粘着ﾃｰﾌﾟ
	居室廊下	1．鋲　2．ｸﾞﾗｽｳｰﾙ保温板（２号40K50mm）　3．着色亜鉛鉄板
	屋外露出　多湿箇所	1．鋲　2．ｸﾞﾗｽｳｰﾙ保温板（２号40K50mm）　3．ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ　4．鉄線　5．ステンレス鋼板
	屋内隠蔽	1．鋲　2．Alﾎｲﾙﾍﾟｰﾊﾟｰ付保温板（2号32K25mm）　3．亀甲金網
	保温内貼　一般制気口	1．鋲　2．ｸﾞﾗｽｳｰﾙ保温板（2号32K25mm）　3．ガラスクロス
	サプライチャンバー	1．鋲　2．ｸﾞﾗｽｳｰﾙ保温板（2号40K50mm）　3．ｶﾞﾗｽｸﾛｽ　4．銅亀甲金網

※上記風導被覆仕様は矩形風導仕様とする。円形風導仕様は保温板を保温帯に読み替える

	区分	仕様
機器類	１鋼板製水槽圧力水槽	１鋲又は接着剤　２ｸﾞﾗｽｳｰﾙ保温板　３ﾙｰﾌｨﾝｸﾞ　４鉄線　５ｱﾙﾐ板
	２排気筒	１ﾛｯｸｳｰﾙ保温帯（50mm）　２鉄線　３ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ　４亀甲金網
	３煙導	１ﾛｯｸｳｰﾙﾌﾞﾗﾝｹｯﾄ（75mm）　２鉄線　３着色亜鉛鉄板
	４温水槽還水槽熱交換器	１鋲　２ｸﾞﾗｽｳｰﾙ保温板（2号50mm）　３鉄線　４アルミ板
	５膨張水槽	１鋲　２ｸﾞﾗｽｳｰﾙ保温板（2号25mm）　３鉄線　４アルミ板
	６冷温水管寄せ	１鋲２ｸﾞﾗｽｳｰﾙ保温板（2号50mm）３ﾙｰﾌｨﾝｸﾞ４鉄線５アルミ板
	７温水・蒸気管寄せ	１鋲　２ｸﾞﾗｽｳｰﾙ保温板（2号50mm）　３鉄線　４アルミ板
	８	

機器メーカー指定

1・下記製造メーカーもしくは、同等品以上とする。
2　下記項目に記載なき機器、材料はＪＩＳ規格品とする。
3

衛生器具	INX　TOTO		

特記事項

工事名	東部保育所耐震補強工事	設計	一級建築士　大臣登録　第108041号　可部谷　一成	検図	
図　名	機械設備特記仕様書・　第2期	縮尺		月日	

可部谷建築事務所
一級建築士事務所富山県知事登録第（7）557号
管理建築士　一級建築士　大臣登録第108041号　可部谷　一成

No.　M － 01

改修影響範囲

既存建具取外し

既存和便器2ヶ所解体撤去

既存ＣＢ壁解体撤去

ＷＣ

押入

廊下

改修前平面詳細図　Ｓ=1:50

和式～洋式便器に取替え
既設汚水管に接続

改修後平面詳細図　Ｓ=1:50

展開表示

ＷＣ　廊下　新設様式便器設置

和室・押入

和式便器～洋式便器に変更仕様

器具名称	器具仕様	数量
洋式便器	GBC-S11S　DV-S414A　　消費電力:1,300W	2
紙巻器	CF-22H	2
既設和式便器を洋式便器に取り換えに付　　汚水配管斫り改修必要		
斫り復旧は本工事　残材処理は場外搬出処分		

室名		床	巾木		壁	腰	天井	H	廻縁	備考
廊下	改修前	フローリング張り		H	モルタル金ｺﾞﾃ下地　ＶＰ塗 腰壁：木製板張り	H	PBｔ9貼　ﾐﾈﾗｰﾄﾝ貼	2,250		
	改修ﾆ伴ｳ解体撤去				ＣＢ壁解体　ＧＬまで		PBｔ9貼　ﾐﾈﾗｰﾄﾝ貼解体撤去			
	改修後	ﾓﾙﾀﾙ下地 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ t2.0貼			PBt9.5＋PBt12.5　ＥＰ塗　LGS65下地 腰壁：木製板張り		PBt9.5貼	2,250		
トイレ	改修前	既存そのまま		H	モルタル金ｺﾞﾃ下地　ＶＰ塗 腰壁：100角タイル貼	H	フレキシブルボード t4.0貼 目透かし　ＶＰ塗	2,300		
	改修ﾆ伴ｳ解体撤去				ＣＢ壁解体　ＧＬまで		フレキシブルボード t4.0貼解体撤去			建具取外し 和式便器解体撤去
	改修後	既存そのまま			耐水PB12.5＋PBｔ9.5　LGS65下地		PBt9.5貼	2,700		既存建具再取付　新設建具枠取付 新設洋式便器設置
和室	改修前			H	センイ壁	H	杉貼柾目透かし	2,400		
	改修ﾆ伴ｳ解体撤去				ＣＢ壁解体　ＧＬまで		杉貼柾目透かし解体撤去			
	改修後	既存そのまま			PB9.5＋PBｔ12.5　LGS65下地			2,400		
押入	改修前	ベニヤ板 t6張り		H	ベニヤ板 t4張り	H	ベニヤ板 t4張り	2,400		
	改修ﾆ伴ｳ解体撤去				ＣＢ壁解体　ＧＬまで		ベニヤ板 t4解体撤去			
	改修後	既存そのまま			PB9.5＋PBｔ12.5　LGS65下地			2,400		

特記事項	工事名	石動東部保育所耐震補強工事	設計	一級建築士　大臣登録　第108041号　可部谷　一成	検図	
	図名	1階職員トイ給排水衛生改修設備図	縮尺	1/50(A2)　1/(50√2)(A3)	月日	

可部谷建築事務所
一級建築士事務所富山県知事登録第（7）557号
管理建築士　一級建築士　大臣登録第108041号　可部谷　一成

No.　M － 02

改修影響範囲
1,000　1,400
改修影響範囲
1,000
900
8,100
7,200
既存ＣＢ壁解体撤去
（FL～+1000までＣＢ壁残す）
改修影響範囲
1,000
廊下
事務所

改修前平面詳細図　S=1:50

1,400
既設ガス湯沸器5号
20
20
仕切弁20A（天井内）確認の事
900
8,100
7,200
廊下
事務所

改修後平面詳細図　S=1:50

A
D 展開表示 B
C

室名		床	巾木		壁	腰	天井	H	廻縁	備考
事務室	改修前	ビニールタイル貼		H	モルタル　ＶＰ塗	H	PBt9貼　ﾐﾈﾗｰﾄﾝ貼	2,700		
	改修ニ伴ウ解体撤去				ＣＢ壁解体　ＧＬまで 一部FL～+1000までＣＢ壁残す		PBt9貼　ﾐﾈﾗｰﾄﾝ貼解体撤去			建具取外し
	改修後	既存そのまま			PBt9.5＋PBt12.5　ＥＰ塗　LGS65下地		PBt9.5貼	2,700		既存建具再取付　新設建具枠取付
廊下	改修前	フローリング張り		H	モルタル金ｺﾞﾃ下地　ＶＰ塗 腰壁：木製板張り	H	PBt9貼　目透かし　ＶＰ塗	2,250		
	改修ニ伴ウ解体撤去				ＣＢ壁解体　ＧＬまで 一部FL～+1000までＣＢ壁残す		PBt9貼解体撤去			
	改修後	既存そのまま			PBt9.5＋PBt12.5　ＥＰ塗　LGS65下地		PBt9.5貼	2,250		

特記事項

工事名	石動東部保育所耐震補強工事	設計	一級建築士　大臣登録　第108041号　可部谷　一成	検図	
図名	1階事務室平面詳細図	縮尺	1/50(A2)　1/(50√2)(A3)	月日	

可部谷建築事務所
一級建築士事務所富山県知事登録第（7）557号
管理建築士　一級建築士　大臣登録第108041号　可部谷　一成

No.
M － 03

既存トイレブース撤去

既存建具取外し

既存収納棚解体撤去

既存ＣＢ壁解体撤去

既存建具取外し

既存ＣＢ壁解体撤去
（FL～+1000までＣＢ壁残す）

改修前平面詳細図　Ｓ=1:50

ペーパータオル脱着

排水金具清掃（2ケ所共）

現況のまま

改修後平面詳細図　Ｓ=1:50

新設トイレブース設置

新設掲示板設置

室名		床	巾木	壁	腰	天井	H	廻縁	備考
保育室	改修前	フローリング張り	H	モルタル金ｺﾞﾃ下地　ＶＰ塗	H	PBｔ9貼　ﾐﾈﾗｰﾄﾝ貼	2,650 (2,250)		
	改修ﾆ伴ｳ解体撤去			ＣＢ壁解体　ＧＬまで		PBｔ9貼　ﾐﾈﾗｰﾄﾝ貼解体撤去			建具取外し
	改修後	既存そのまま		PBt9.5＋PBt12.5　ＥＰ塗　LGS65下地 一部掲示板：掲示クロス貼			2,650 (2,250)		既存建具再取付　新設建具枠取付 新設掲示板設置
トイレ	改修前	丸型モザイクタイル貼	H	モルタル金ｺﾞﾃ下地　ＶＰ塗 腰壁：100角タイル貼	H	フレキシブルボード t4.0貼 目透かし　ＶＰ塗	2,250		
	改修ﾆ伴ｳ解体撤去			ＣＢ壁解体　ＧＬまで		フレキシブルボード t4.0貼解体撤去			建具取外し トイレブース解体撤去
	改修後	既存そのまま		耐水PB12.5＋PBｔ9.5　LGS65下地 小便器前パネル張り		PBt9.5貼	2,250		既存建具再取付　新設建具枠取付 新設トイレブース設置
教材室	改修前	ビーニールタイル貼	H	モルタル金ｺﾞﾃ下地　ＶＰ塗	H	PBｔ9貼　WP塗	2,250		
	改修ﾆ伴ｳ解体撤去			ＣＢ壁解体　ＧＬまで		PBｔ9貼解体撤去			建具取外し 既存収納棚２段解体撤去
	改修後	既存そのまま		PBt9.5＋PBt12.5　ＥＰ塗　LGS65下地		PBｔ9貼　WP塗	2,250		既存建具再取付　新設建具枠取付 新設収納棚２段取付

特記事項

工事名	石動東部保育所耐震補強工事
図名	１階トイレ①給水改修設備図
設計	一級建築士　大臣登録　第108041号　可部谷　一成
縮尺	1/50(A2)　1/(50√2)(A3)
月日	
No.	M － 04

可部谷建築事務所
一級建築士事務所富山県知事登録第（7）557号
管理建築士　一級建築士　大臣登録第108041号　可部谷　一成

室名		床	巾木	壁	腰	天井	H	廻縁	備　考
保育室	改修前	フローリング張り	H	モルタル金ｺﾞﾃ下地　ＶＰ塗	H	PBｔ9貼　ﾐﾈﾗｰﾄﾝ貼	2,650 (2,250)		
	改修ﾆ伴ｳ解体撤去			ＣＢ壁解体　ＧＬまで 一部FL～+1000までＣＢ壁残す		PBｔ9貼　ﾐﾈﾗｰﾄﾝ貼解体撤去			建具取外し
	改修後	既存そのまま		PBt9.5＋PBt12.5　ＥＰ塗　LGS65下地 一部掲示板：掲示クロス貼		PBt9.5貼	2,650 (2,250)		既存建具再取付　新設建具枠取付 新設掲示板設置
トイレ	改修前	丸型モザイクタイル貼	H	モルタル金ｺﾞﾃ下地　ＶＰ塗 腰壁：100角タイル貼	H	フレキシブルボード t4.0貼 目透かし　ＶＰ塗	2,250		
	改修ﾆ伴ｳ解体撤去			ＣＢ壁解体　ＧＬまで 一部FL～+1000までＣＢ壁残す		フレキシブルボード t4.0貼解体撤去			建具取外し トイレブース解体撤去 掃除流し取外し　小便器取外し
	改修後	既存そのまま		耐水PB12.5＋PBｔ9.5　LGS65下地 小便器前パネル張り		PBt9.5貼	2,250		既存建具再取付　新設建具枠取付 新設トイレブース設置(扉無し) 掃除流し再取付　小便器再取付
教材室	改修前	ビーニールタイル貼	H	モルタル金ｺﾞﾃ下地　ＶＰ塗	H	PBｔ9貼　WP塗	2,250		
	改修ﾆ伴ｳ解体撤去			ＣＢ壁解体　ＧＬまで 間仕切壁解体撤去		PBｔ9貼解体撤去			建具取外し 既存収納棚２段解体撤去
	改修後	既存そのまま		PBt9.5＋PBt12.5　ＥＰ塗　LGS65下地		PBt9.5貼	2,250		既存建具再取付　新設建具枠取付 新設収納棚２段取付

特記事項

工事名	石動東部保育所耐震補強工事	設計	一級建築士 大臣登録 第108041号 可部谷 一成	検図	
図名	１階トイレ②平面詳細図１	縮尺	1/50(A2)　1/(50√2)(A3)	月日	

可部谷建築事務所
一級建築士事務所富山県知事登録第（7）557号
管理建築士　一級建築士　大臣登録第108041号　可部谷　一成

No. M － 05

改修影響範囲

既存建具取外し
既存収納棚解体撤去
既存トイレブース撤去
既存ＣＢ壁解体撤去
既存建具取外し
既存ＣＢ壁解体撤去
（FL～+1000までＣＢ壁残す）

改修前平面詳細図　Ｓ＝1:50

ペーパータオル脱着
排水金具清掃（2ケ所共）

改修後平面詳細図　Ｓ＝1:50

新設トイレブース設置
新設掲示板設置

室名		床	巾木	壁	腰	天井	H	廻縁	備　考
保育室	改修前	フローリング張り	H	モルタル金ｺﾞﾃ下地　ＶＰ塗	H	PBｔ9貼　ﾐﾈﾗｰﾄﾝ貼	2,650 (2,250)		
	改修ニ伴ウ解体撤去			ＣＢ壁解体　ＧＬまで		PBｔ9貼　ﾐﾈﾗｰﾄﾝ貼解体撤去			建具取外し
	改修後	ﾓﾙﾀﾙ下地 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ t2.0貼		PBt9.5＋PBt12.5　ＥＰ塗　LGS65下地 一部掲示板：掲示クロス貼		PBt9.5貼	2,650 (2,250)		既存建具再取付　新設建具枠取付 新設掲示板設置
トイレ	改修前	丸型モザイクタイル貼	H	モルタル金ｺﾞﾃ下地　ＶＰ塗 腰壁：100角タイル貼	H	フレキシブルボード t4.0貼 目透かし　ＶＰ塗	2,250		
	改修ニ伴ウ解体撤去			ＣＢ壁解体　ＧＬまで		フレキシブルボード t4.0貼解体撤去			建具取外し トイレブース解体撤去 小便器取外し
	改修後			耐水PB12.5＋PBｔ9.5　LGS65下地 小便器前パネル張り		PBt9.5貼	2,250		既存建具再取付　新設建具枠取付 新設トイレブース設置 小便器再取付
教材室	改修前	ビーニールタイル貼	H	モルタル金ｺﾞﾃ下地　ＶＰ塗	H	PBｔ9貼　WP塗	2,250		
	改修ニ伴ウ解体撤去			ＣＢ壁解体　ＧＬまで		PBｔ9貼解体撤去			建具取外し
	改修後			PBt9.5＋PBt12.5　ＥＰ塗　LGS65下地		PBt9.5貼	2,250		既存建具再取付　新設建具枠取付 新設収納棚２段取付

特記事項

工事名	石動東部保育所耐震診断工事	設計	一級建築士　大臣登録　第108041号　可部谷　一成	検図	
図名	２階トイレ③給水設備改修図	縮尺	1/100(A2)　1/(100√2)(A3)	月日	

可部谷建築事務所
一級建築士事務所富山県知事登録第（7）557号
管理建築士　一級建築士　大臣登録第108041号　可部谷　一成

No. M － 06

室名		床	巾木		壁	腰	天井	H	廻縁	備考
保育室	改修前	フローリング張り		H	モルタル金ｺﾞﾃ下地　ＶＰ塗	H	PBｔ9貼　ﾐﾈﾗｰﾄﾝ貼	2,650 (2,250)		
	改修ﾆ伴ｳ解体撤去				ＣＢ壁解体　ＧＬまで		PBｔ9貼　ﾐﾈﾗｰﾄﾝ貼解体撤去			建具取外し
	改修後	ﾓﾙﾀﾙ下地 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ t2.0貼			PBt9.5＋PBt12.5　ＥＰ塗　LGS65下地 一部掲示板：掲示クロス貼		PBt9.5貼	2,650 (2,250)		既存建具再取付　新設建具枠取付 新設掲示板設置
トイレ	改修前	丸型モザイクタイル貼		H	モルタル金ｺﾞﾃ下地　ＶＰ塗 腰壁：100角タイル貼	H	フレキシブルボード t4.0貼 目透かし　ＶＰ塗	2,700		
	改修ﾆ伴ｳ解体撤去				ＣＢ壁解体　ＧＬまで		フレキシブルボード t4.0貼解体撤去			建具取外し トイレブース解体撤去 小便器取外し
	改修後				耐水PB12.5＋PBｔ9.5　LGS65下地 小便器前パネル張り		PBt9.5貼	2,700		既存建具再取付　新設建具枠取付 新設トイレブース設置 小便器再取付
教材室	改修前	ビーニールタイル貼		H	モルタル金ｺﾞﾃ下地　ＶＰ塗	H	PBｔ9貼　WP塗	2,700		
	改修ﾆ伴ｳ解体撤去				ＣＢ壁解体　ＧＬまで		PBｔ9貼解体撤去			建具取外し 既存収納棚２段解体撤去
	改修後				PBt9.5＋PBt12.5　ＥＰ塗　LGS65下地		PBt9.5貼	2,700		既存建具再取付　新設建具枠取付 新設収納棚２段取付

特記事項

工事名	石動東部保育所耐震補強工事	設計	一級建築士　大臣登録　第108041号　可部谷　一成	検図	
図名	２階トイレ④給水改修設備図	縮尺	1/50(A2)　1/(50√2)(A3)	月日	

可部谷建築事務所
一級建築士事務所富山県知事登録第（7）557号
管理建築士　一級建築士　大臣登録第108041号　可部谷　一成

No.
Ｍ － 07

室名		床	巾木	壁	腰	天井	H	廻縁	備考
保育室	改修前	フローリング張り	H	モルタル金ｺﾞﾃ下地　ＶＰ塗	H	ＰＢｔ9貼　ﾐﾈﾗｰﾄﾝ貼	2,650 (2,250)		
	改修ﾆ伴ｳ解体撤去			ＣＢ壁解体　ＧＬまで		ＰＢｔ9貼　ﾐﾈﾗｰﾄﾝ貼解体撤去			建具取外し
	改修後	既存そのまま		PBt9.5＋PBt12.5　ＥＰ塗　LGS65下地 一部掲示板：掲示クロス貼		PBt9.5貼	2,650 (2,250)		既存建具再取付　新設建具枠取付 新設掲示板設置
トイレ	改修前	丸型モザイクタイル貼	H	モルタル金ｺﾞﾃ下地　ＶＰ塗 腰壁：100角タイル貼	H	フレキシブルボード t4.0貼 目透かし　ＶＰ塗	2,250		
	改修ﾆ伴ｳ解体撤去			ＣＢ壁解体　ＧＬまで		フレキシブルボード t4.0貼解体撤去			建具取外し トイレブース解体撤去 小便器取外し
	改修後	既存そのまま		耐水PBt12.5＋PBt9.5 吹付塗装 LGS65下地 小便器前パネル張り		PBt9.5貼	2,250		既存建具再取付　新設建具枠取付 新設トイレブース設置 小便器再取付
教材室	改修前	ビーニールタイル貼	H	モルタル金ｺﾞﾃ下地　ＶＰ塗	H	ＰＢｔ9貼　WP塗	2,250		
	改修ﾆ伴ｳ解体撤去			ＣＢ壁解体　ＧＬまで 間仕切壁解体撤去		ＰＢｔ9貼解体撤去			建具取外し 既存収納棚２段解体撤去
	改修後	既存そのまま		PBt9.5＋PBt12.5　ＥＰ塗　LGS65下地		PBt9.5貼	2,250		既存建具再取付　新設建具枠 新設収納棚２段取付

特記事項

工事名	石動東部保育所耐震補強工事	設計	一級建築士 大臣登録 第108041号 可部谷 一成	検図	
図名	２階トイレ⑤給水改修設備図	縮尺	1/50(A2) 1/(50√2)(A3)	月日	

可部谷建築事務所
一級建築士事務所富山県知事登録第 (7) 557号
管理建築士　一級建築士　大臣登録第108041号　可部谷　一成

No. M － 08

内部仕上表

室　名		床	巾木 腰	壁	天井	備　考
職員便所	既　設	ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼	100角ﾀｲﾙ貼	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ　VPﾇﾘ	ﾌﾚｷｼﾌﾞﾎﾞｰﾄﾞ t4　目透し貼　VPﾇﾘ 木下地	
	改修内容	既設のまま		PB9.5+防水PB12.5　AEPﾇﾘ LGS 65下地	ﾌﾚｷｼﾌﾞﾎﾞｰﾄﾞ t4　目透し貼　AEPﾇﾘ LGS 下地	
事務室手洗い	既　設	ﾋﾞﾆｰﾙﾀｲﾙ貼		ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ　VPﾇﾘ	ﾌﾚｷｼﾌﾞﾎﾞｰﾄﾞ t4　目透し貼　VPﾇﾘ 木下地	
	改修内容	既設のまま		PB9.5+防水PB12.5　AEPﾇﾘ LGS 65下地	ﾌﾚｷｼﾌﾞﾎﾞｰﾄﾞ t4　目透し貼　AEPﾇﾘ	
保育室ＷＣ１	既　設	ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼	100角ﾀｲﾙ貼	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ　VPﾇﾘ	ﾌﾚｷｼﾌﾞﾎﾞｰﾄﾞ t4　目透し貼　VPﾇﾘ 木下地	
	改修内容	既設のまま		PB9.5+防水PB12.5　AEPﾇﾘ LGS 65下地	ﾌﾚｷｼﾌﾞﾎﾞｰﾄﾞ t4　目透し貼　AEPﾇﾘ LGS 下地	
保育室ＷＣ２	既　設	ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼	100角ﾀｲﾙ貼	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ　VPﾇﾘ	ﾌﾚｷｼﾌﾞﾎﾞｰﾄﾞ t4　目透し貼　VPﾇﾘ 木下地	
	改修内容	既設のまま		PB9.5+防水PB12.5　AEPﾇﾘ LGS 65下地	ﾌﾚｷｼﾌﾞﾎﾞｰﾄﾞ t4　目透し貼　AEPﾇﾘ LGS 下地	
ポンプ室	既　設	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ		ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ　VPﾇﾘ	ﾌﾚｷｼﾌﾞﾎﾞｰﾄﾞ t4　目透し貼　VPﾇﾘ 木下地	
	改修内容	既設のまま		PB9.5+PB12.5　AEPﾇﾘ LGS 65下地	ﾌﾚｷｼﾌﾞﾎﾞｰﾄﾞ t4　目透し貼　AEPﾇﾘ LGS 下地	

特記事項

工事名　石動東部保育所耐震補強工事

図　名　修正後１階冷暖房設備

設計　一級建築士　大臣登録　第108041号　可部谷　一成

縮尺　1/100(A2)　1/(100√2)(A3)

検図

月日

可部谷建築事務所
一級建築士事務所富山県知事登録第（7）557号
管理建築士　一級建築士　大臣登録第108041号　可部谷　一成

No.　M － 09

内部仕上表

室　名		床	巾木 腰	壁	天井	備　考
				LGS 65下地		
保育室WC３	既　設	ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼	100角ﾀｲﾙ貼	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ　VPﾇﾘ	ﾌﾚｷｼﾌﾞﾎﾞｰﾄﾞ t4　目透し貼　VPﾇﾘ 木下地	
	改修内容	既設のまま		PB9.5+防水PB12.5　AEPﾇﾘ LGS 65下地	ﾌﾚｷｼﾌﾞﾎﾞｰﾄﾞ t4　目透し貼　AEPﾇﾘ LGS 下地	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ
保育室WC４	既　設	ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼	100角ﾀｲﾙ貼	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ　VPﾇﾘ	ﾌﾚｷｼﾌﾞﾎﾞｰﾄﾞ t4　目透し貼　VPﾇﾘ 木下地	
	改修内容	既設のまま		PB9.5+防水PB12.5　AEPﾇﾘ LGS 65下地	ﾌﾚｷｼﾌﾞﾎﾞｰﾄﾞ t4　目透し貼　AEPﾇﾘ **LGS 下地**	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ
保育室WC５	既　設	ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼	100角ﾀｲﾙ貼	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ　VPﾇﾘ	ﾌﾚｷｼﾌﾞﾎﾞｰﾄﾞ t4　目透し貼　VPﾇﾘ 木下地	
	改修内容	既設のまま		PB9.5+防水PB12.5　AEPﾇﾘ LGS 65下地	ﾌﾚｷｼﾌﾞﾎﾞｰﾄﾞ t4　目透し貼　AEPﾇﾘ LGS 下地	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ
各保育室	既　設	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ貼　県産材		ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ　VPﾇﾘ	PB9.5 + ﾐﾈﾗｰﾄﾝ12.5貼 木下地	
	改修部分	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ貼　県産材		PB9.5 + PB12.5　吹付けタイル LGS 65下地	PB9.5 + ﾐﾈﾗｰﾄﾝ12.5貼 木下地	掲示板 棚再取付

特記事項

工事名	石動東部保育所耐震補強工事	設計	一級建築士　大臣登録　第108041号　可部谷　一成	検図	可部谷建築事務所 一級建築士事務所富山県知事登録第（7）557号 管理建築士　一級建築士　大臣登録第108041号　可部谷　一成	No. M － 10
図　名	修正後２階冷暖房設備	縮尺	1/100(A2)　1/(100√2)(A3)	月日		